

令和2年度 野庭地域ケアプラザPDCAシート\_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

<地域の現状>

- ・野庭エリアにおける急速な高齢化に伴い、認知症高齢者も増加し日常生活において多種多様な問題が発生しています。
- ・相談対応では、対象者だけでなく、家族も含めた複雑な事情を抱えているような世帯全体の支援が増えています。
- ・小さなコミュニティ(町会、フロア、階段単位等)での見守り、助け合いができる仕組みが求められています。

<今後の方向性>

- ・総合相談対応の充実
- ・地域包括ケアの推進(見守り事業、介護予防・生活支援事業、地域支援者サポート等)
- ・港南ひまわりプランの推進

今年度の重点的な取組

新規  
継続

—具体的な取組内容—

- |                                     |                                     |   |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            | 地域ケアプラザが地域の身近な相談窓口であり、地域の誰もが安心して利用できる施設であることを関係機関と連携し周知の仕方を工夫します(野庭エリアに引っ越してきた方にケアプラザ冊子、のぼ生活応援マップを配布するなど)。またお届けする情報が最新であるよう更新を行います(R2年度 のぼ生活応援マップの更新)。更新を行う際にはマップに掲載されている店舗、事業所とのコミュニケーションを大切にし顔の見える関係づくりに力を入れます。 |
| <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> | 多種多様なご相談に対応するために各関係機関と情報共有を行い相談体制の充実化に努めます(連携強化)。区役所の高齢支援以外の障害支援、生活支援や基幹相談支援センター、区社会福祉協議会等との情報共有にも力を入れます。(カンファレンス、担当者会議等に声掛け、適宜電話連絡等)   |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            | 野庭は高齢化率も高く階段を伴う住宅が多いエリアです。日常の買い物にも不自由を感じている高齢者が多いと思われます。今年度、野庭エリアでは移動販売車の運行計画があります。移動販売車は、日常生活に必要な物を販売するだけでなく、住民同士のコミュニティの形成、見守り、つながりができるといった効果も期待されます。野庭CPとして、地域の方・企業双方とコミュニケーションをとり情報交換の場を作っていきます。              |
| <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> | 野庭エリアの高齢化率は36%、また年々増加傾向にありそれに伴い認知症の高齢者もさらに増加することが見込まれます。そのため「地域の見守り・助け合い」が欠かせません。認知症について世代を超えて理解や協力の輪が広がるよう働きかけます。野庭エリアのキャラバンメイトと協力し貸館登録団体や学校、企業等に認知症サポーター養成講座を開催します。   |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            | 野庭エリア内の居宅介護支援事業所を中心にエリア(野庭団地地区、野庭住宅地区、永野地区)の地区別計画について情報提供する場をつくります。ケアマネジャーが地域の状況を把握しケアプランに活かせるように各地区のネットワーク会議にケアマネジャーが参加できるよう働きかけます。  |

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため緊急事態宣言、外出自粛により地域ケアプラザの事業、地域の行事や福祉・保健活動は大きな変更を余儀なくされました。上期は開館時間の短縮、貸館事業の休止により地域の方との接点も減少し地域の様子が分からない状態にもなりました。その中で福祉・保健の拠点として地域の方に活用して頂くことでケアプラザは力を発揮できたと改めて感じました。中期は貸館事業緩和の中で、元気づくりST等の介護予防活動を再開させるために活動団体の方々と感染拡大防止のためのルールを共に考え、安全安心に実施できる新しい活動の形を作り出すことが出来ました。下期は、地域ケア会議・協議体を開催し、地域の方々や各関係機関と地域の見守りや助け合いについて考える機会を持つ事が出来ました。又、社会貢献活動に取り組む企業や事業所等が増えており、ダイエーの移動販売も10月よりスタートし買い物を通してゆるやかに見守り、つながりあう場になっています。移動販売開始までに地域の自治会、事業者、関係機関との協議、情報交換の場づくりに力を入れ、企業や事業所ができることと地域のニーズをつなげ社会貢献の実現を支援しました。来年度もケアプラザの運営に関しては、新型コロナウイルスの影響が継続することが考えられます。今までに築き上げてきた地域との顔の見える関係を生かし、5職種専門性と協働力を発揮して、各関係機関・関係団体と連携し地域支援に努めていきます。

区からのコメント

野庭地区は高齢化が進み単身・高齢者世帯が増加しており、緊急対応が必要となる相談も増加していますが、区やケアマネと連携し迅速に訪問するなど適切に対応しています。また、コロナ禍でより必要性が高まっている介護予防の取組についても、安全に実施できる形を地域と話し合いながら構築し、活動することができました。「のぼ生活応援マップ」を更新し、掲載店舗への挨拶回りを行い、掲載のない店舗・企業へも挨拶と掲載の声掛けを行うことで、更なる資源把握に努めました。10月から始まった移動販売の機会等も活用し、コロナ禍で影響を受けている地域活動の活性化と住民同士のふれあいと見守りの充実に一層取り組んでいただきますようお願いいたします。令和2年度はコロナ感染防止のため、諸室の貸出しや相談業務、各種事業の実施などに様々な制限が求められました。そうした中でも、工夫を凝らしながら、関係者との協働により地区別計画の策定を達成するなどの成果も上がっています。今後、ますますのニーズ増が見込まれるICTの利活用については区役所としても各種取組の提案や情報提供などに努めていきます。引き続き、地域の皆様の期待に応えられるよう、適切・健全な施設運営をお願いいたします。